

## 五位組伝灯奉告法要団体参拝について

教願寺 住職 岡西法英



大谷光真前門主から大谷光淳門主へ法統継承

2016年  
(平成28年)  
9月15日

## 五位組だより

念仏のこころに生きる生活を

浄土真宗本願寺派  
高岡教区 五位組

題字・織田隆夫

一昨年六月六日、第二十四代大谷光真門主(即如上人)から第二十五代大谷光淳門主(専如上人)へと、法統継承式が執り行われ、新たな本願寺住職・本願寺派門主が誕生しました。いわゆるお代替わりが行われたわけで、将来に向けて宗門の新たな一歩が踏み出されたこととなります。追って、本年一月十六日、本願寺での報恩講ご満座に引き続いて、専如門主からご消息が發布され、法統の継承を釈迦・弥陀二尊と親鸞聖人並びに歴代宗主の御前に奉告し、宗門の内外にお代替わりを宣言する伝灯奉告法要のご修行が告知されました。

法要は本年十月一日から四期、明年三月七日から六期に分けて八日間ずつ合わせて八十日間にわたって勤められる予定です。

私たち五位組の僧侶・寺族・門徒は、明年の四月十三日(木)朝に出発して、午前中に大谷本廟で納骨を済ませ午後法要にお参りした後、本山の隣の東急ホテルで宿泊です。二日目は本山のお朝事にお参りした後、天橋立へ立ち寄って、十四日(金)の午後六時半頃帰着の予定です。本山から歩いてすぐの高級ホテルは便利で豪華なこと

夏休み子ども大会写真・本文4ページ



仏参の様子

すが、その代わり、参加費は一人四万円になりました。ご理解頂きたいと思います。

終戦の年に生まれられた即如前門主が引退されて、昭和五十二年生まれの専如様のご門主になられたことには感慨を覚えずにはおれませんが、この新たな出発が実り多く輝かしいものでありますようにと願わずにはおれません。この願いを次世代の子や孫にも受け継いでもらいたいという私たちの思いを行動で示したいものです。幾百の皆様のご参加をお待ち致します。

## 五位組第十一期連続研修会(連研)を終えて

五位組組長 珉照寺 山岸智史

八月二十八日(日)、長光寺にての閉講式をもって、五位組第十一期連続研修会(連研)が修了いたしました。今回は十二名の受講者が修了されました。

連研は、講師が受講者に一方的に法話をするという講義形式ではなく、問題提起を受けて受講者が自らの思いを語っていくという話し合い法座を中心にして進められます。



修了証 授与式

その話し合い法座ですが、最初はお互いが遠慮がちではありましたが、研修が進むにつれお互いが打ち解けていき、後半では活発な話し合いがなされました。それを通して、各研修のテーマでもある十二の問いを自らの問題として向き合うようになったのではないかと思います。

閉講式後の懇親会において、受講者の一人が「今回の研修を通して、今までとは違った視点で世の中をみるようになった」と語ってくれたのが印象的でした。

受講者のほとんどが修了証を授与され無事に終わった連研でしたが、一方で、テーマの設定とその順番、問題提起の内容や話し合い法座の進め方など、多くの課題も残されました。これらの課題を次期に向けて克服していきたいと思えます。

## 自坊紹介



清水山 永賢寺

高岡市福岡町 舞谷

に入寺した。達摩は中興開基第十三世住職となり、大正三年二月十五日に遷化した。第十四世達摩は昭和二十一年一月一日に入滅し、第十五世達摩は昭和十三年九月十三日に往化した。現在は第十六世達摩が住職を務めている。明治十一年から二十三年まで住職の居なかつた二年間に門徒が無くなつたようである。今は舞谷の二十戸余りの人達や赤丸地域の方々に支えられて寺院を運営している。

永賢寺の所在地舞谷は、城ヶ平の横穴古墳から直刀が出土したことから推定し、千三百年以上の歴史がある。清水山永賢寺傳燈録によると、城ヶ平の城主の嫡男、中山永賢が、元龜三年(一五七二年)に永賢寺を開基し、第一世住職となり、慶長七年十一月八日に示寂した。第二世慶順から十二世鈍鎮まで続いたが、明治十一年十月十八日に鈍鎮が入寂した後、後継者が絶えた。

舞谷の在所の人達は永賢寺の後継者を探していた所、射水郡浅井村土合の麻生達摩が次男の達勝を連れて、明治三十三年十月十一日

昭和四十六年に五位組の若院夫婦で結成された志侶久会で、寺井教亮先生のお導きを頂き、自坊でも毎月在所の方と正信偈、阿弥陀經、歎異鈔の購読会を十年続けた。今は、一月の御正忌、春の彼岸会、夏の地藏盆、秋の彼岸会、十一月には報恩講を勤めている。報恩講には講師を招くが、他の法座は正信偈を大衆唱和し、若院と住職がリレー法話をし、仏教讃歌を歌いお斎(とき)をして、おしゃべりをする和やかな法座をしている。月忌参りは在所が中心で、ゆつくりと正信偈をお勤めして御文章を拝読し、その時々のお話をして帰る。のどかな田舎の御坊である。

# 報 恩 講 ご 案 内

各寺院の日程順に記載してあります。

どうぞお誘い合わせの上、お参りください。詳細については、各寺院にお問い合わせ下さい。

**石堤 法善寺**  
 十月一日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 十月二日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 高岡市戸出六十歩 林 要順 師  
 ※二日は祠堂経法要

**上向田 浄永寺**  
 十月三日 昼一時三十分  
 十月四日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 小矢部市西中 平野 信教 師

**赤丸 性宗寺**  
 十月十一日 昼一時三十分 夜七時  
 十月十二日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 射水市市井 公文名 眞 師

**四日市 浄明寺**  
 十月十四日 昼一時三十分 夜七時  
 十月十五日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 高岡市内島 岡西 法英 師

**中保 善教寺**  
 十月十六日 朝九時三十分 昼二時三十分  
 法話 高岡市泉町 現影 顕正 師

**辻 西福寺**  
 十月十六日 昼一時三十分  
 十月十七日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 高岡市伏木 山名 一徳 師

**立野 永念寺**  
 十月二十日 昼一時三十分  
 十月二十一日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 小矢部市興法寺 立川 証 師

**三日市 光源寺**  
**親鸞聖人七五〇回大遠忌法要**  
 十月二十二日 昼一時三十分 夜七時  
 十月二十三日 朝十時  
 法話 高岡市佐加野 磯原 孝雄 師

**本保 本正寺**  
 十月二十六日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 高岡市内島 岡西 法英 師

**佐加野 光明寺**  
 十月二十七日 昼一時三十分  
 十月二十八日 朝九時三十分  
 法話 高岡市内島 岡西 法英 師

**内島 教願寺**  
 十月三十日 昼一時三十分 夜七時  
 十月三十一日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 高岡市佐加野 磯原 孝雄 師

**石堤 長光寺**  
 十一月一日 昼一時三十分  
 十一月二日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 夜七時  
 十一月三日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 氷見市布施 圓山 望 師

**笹川 廣濟寺**  
 十一月五日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 夜七時  
 十一月六日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 高岡市伏木 山名 一徳 師

**麻生谷 西光寺**  
 十一月七日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 夜七時  
 十一月八日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 氷見市脇 寺西 良夫 師

**山岸 珉照寺**  
 十一月十六日 昼一時三十分 夜七時  
 十一月十七日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 高岡市伏木 山名 一徳 師

**舞谷 永賢寺**  
 十一月二十二日 朝九時三十分 昼一時三十分  
 法話 富山市婦中町 竹中 了祥 師

**第18回 五位組 夏休み子ども大会 開催**



テーマ 「伝説に挑戦」

お寺七不思議探検ゲーム・「伝統の宝珠」はどこ

本年、七月三十日(土)午後四時より五位組門徒総代会主催の「第十八回五位組夏休み子ども大会」が石堤長光寺にて開催されました。今回で十八回目となりますので、この十八年を振り返りそろそろ手法を変え新しいプログラムでの意見が多く、若住職・若坊守を中心に企画立案させていただきました。

まず、開催時間を夕方の四時とし、「伝説に挑戦」をテーマに「お寺七不思議探検」ゲームから開始です。これは、色々な歴史・自然科学問題を解きながら本堂・庫裡・境内にある七不思議を見つけ「伝説の宝珠」を集めていきます。子供たちは、皆で相談・協

力し、走り回り、次々に難問を解決し「伝説の宝珠」をゲットしては大はしゃぎです。走り回った後は、永賢寺住職先生のもと本堂で「讃歌指導」、心静かに手を合わせました。

六時からは、長光寺仏教婦人会のご協力によりカレーライスを作っていただき、本堂前外庭にて六十人の方々と食前・食後の言葉を大きな声で唱和・合掌し、楽しく、礼儀正しく、美味しくいただきました。

夕日も沈み暗くなってきた七時過ぎより、最後で最大のメインイベント、墓場まわり「きもだめし大会」です。まず、長光寺住職が怖いお話をしたところ泣き出す子供も続出し一時はどうなるかと思いましたが、子供たちは勇気を振り絞り、お念仏を唱えながら墓地に向かいました。ひと回りし帰って来た時には、笑顔で「怖かったけど楽しかった」と言ってくれ安心いたしました。

五位組夏休み子ども大会は、学校・社会・家庭ではあまり伝えなくなった「仏さまと生命(いのち)」のルールを体験する機会を共に過ごしたいとの願いから始まった行事です。今後も総代会や門信徒ご家族の支えにより末永く継続させていただきたいと、改めてスタッフ一同強く心に刻んだ子ども大会でした。

◆◆◆◆◆ 五位組行事予定 ◆◆◆◆◆

**ビバーラ研修会**

二〇一六年  
(平成二十八年)  
九月二十五日  
十九時  
西光寺にて

**実践運動研修会**

二〇一七年  
(平成二十九年)  
二月下旬  
十五時  
珉照寺にて

**歴史講座**

二〇一七年  
(平成二十九年)  
二月 予定  
十九時  
性宗寺にて

**五位組**

**伝灯奉告法要参拝**  
二〇一七年  
(平成二十九年)  
四月十三日から  
四月十四日まで

**編集後記**

リオデジャネイロ五輪で、富山県出身の田知本選手と登坂選手が、それぞれの競技で各級金メダルに輝いた。特に高岡市出身の登坂選手はワンチャンスを生かし、二秒前に逆転勝利をした。「絶対に絶対に金メダルを取る」それだけを強く心に刻んで、最後の一秒まで諦めずメダルももぎとった。

ところで、私達門信徒にも金メダルはないものでしょうか。それは聴聞することによって心のメダルが与えられます。聴聞すればするほど、或るときは励まされ、或るときは促され、生きる支えとなり聴聞によって大きなメダルが与えられます。

合掌